



# 学校だより

平成29年12月22日  
佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 No. 58  
〒952-3541 佐渡市水津858  
TEL 0259(29)2313 小：E-mail [maehama-es@sado.ed.jp](mailto:maehama-es@sado.ed.jp)  
中：E-mail [maehama-js@sado.ed.jp](mailto:maehama-js@sado.ed.jp)



## もっと泣いていいのではないか

前浜中学校 校長 治田 博樹

今年も、袴紙（はかがみ）の季節がやってきました。前浜小中学校の子どもたちが心を込めて約400枚の袴紙を製作し、地域の皆様に配付します。毎年恒例の小中合同の活動です。日頃、地域の皆様にはたくさんお世話になっているので、せめてものお返しというわけで、一軒一軒まわって手渡します。とても感謝されて、まさに地域の中で生かされていることを子どもたちが実感する活動です。児童・生徒数が少なくなり、製作がとても大変なのですが子どもたちは時間を掛けて丁寧に仕上げます。自分の努力が、地域に貢献できることで報われるということは、素晴らしい体験になります。

さて、新潟県出身の評論家佐藤忠男氏の本を読んでいたら、次のような文章に出会いました。「民俗学者柳田国男は「涕泣史譚（ていきゅうしたん）」という論文で、近頃子どもが泣かなくなったと指摘している。泣かなくなってよかったと論じているのではなくて、泣くことでしか表現できないような子どもの気持ちが表現されなくなってきているのではないかと心配しているのである。－略－

今ではいじめられている者も容易に泣かないで、むしろ平気なふりなどしたり、一緒にふざけているみたいに振る舞ったりして我慢している。そしてある日、実はどんなに自分が苦しい思いをしていたかということを書き遺書に書いて自殺することがある。－略－

泣くのはみっともないという世間の常識がそうはさせなくなってきたのだ。大人からは、何かというと「ガンバレ、ガンバレ」と言われるばかりで、君たちは正しい逃げ方を教わっていない。もしできればとりあえず、泣いて、負けて、逃げて、時間をかせいで、頭を冷やして、正しい反撃の仕方はゆっくりと考えればいいのだ。－略－

弱い者が、弱くて何が悪いか、とって弱虫の権利を主張するのだって民主主義の重要な一部なのだ」（『大人になるということ』岩波ジュニア新書）

確かに昔と違って、今の子どもたちはあまり泣かないと感じています。私は、子どもはもっと泣いてもいいのではないかと考えています。中学生だって、時には大声を出して泣きじゃくってもいいのではないかと。泣くことでしか、吐き出せないものもあるのではないかと。それが、大人になる前のこの時に大事なことはないか。

そんなふうに考えさせられました。

冬休みです。今年ももうすぐ終わりです。家族でどうか温かい冬休みを過ごしてほしいと願っています。保護者・地域の皆様、冬休みの間、子どもたちをよろしく願いいたします。



## 11/27(月)～12/1(金) 校内読書週間

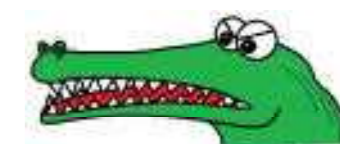


今年も校内読書週間を設け、本に親しむ活動を行いました。両津図書館の方による本の読み聞かせ会、また、朝読書の時間に、小・中学校の校長や小学校職員による本の読み聞かせを行いました。また、JRC委員会が「読書でビンゴ」カードを作成し、たくさん本を読んでビンゴになると、しおりがプレゼントされました。他にも、職員のおすすめの本を廊下に展示し、手に取って読めるようにしました。本を読んでもらうことは何年生になっても楽しみなようで、どの子どももくい入るように集中して物語を聞いていました。



## 歯科保健指導

～小学校編～



今年も金子歯科医院の高柳歯科衛生士さんによる、**歯科保健指導**が行われました。高柳先生からは、鉛筆もちで軽く歯に押し当てて磨くこと、歯ブラシは「つま先」「かお」「かか」との3つに使い分けて歯を磨くことを教えていただきました。また、よく噛むことで唾液が増えて食べ物かすを洗い流してくれることも教えていただきました。その後、教えてもらったように歯みがきをして、子どもたちの歯はぴかぴかになりました。



## 中学校体験入学

6年生が前浜中学校に**体験入学**をしました。中学校の様子を教えてもらった後、まず3年生の教室で授業を見学しました。やや緊張した様子だったのですが、1年生と英語の授業に参加するころには、リラックスした様子で授業を楽しんでいました。

小学校で英語活動を経験しているせいか、中学校の先生が話す英語をすんなり理解できていて驚きました。中学校へ向けて希望ふくらむ一日でした。



## 新潟県ジュニア美術展覧会 入賞おめでとう

奨励賞 1年 K・Kさん 1年 K・Yさん

# 歯科保健指導 ~中学校編~



11月27日（月）高柳歯科衛生士さんをお招きし、**歯科保健指導**を行いました。5限の小学生への指導に比べ、少し専門的な指導をしていただきました。

まず全員の姿勢チェックからスタートしました。食べ物の噛み方や歯の磨き方が、背骨などの成長に影響するというご指導を受けました。さらに誤った磨き方をすると、歯茎を痛めたり、歯を失ったりするというお話に、生徒はもちろん教職員も歯磨きの重要性を痛感した時間でした。以下、中学生の感想を抜粋してみました。



「正しい磨き方でおばあちゃんになるまで、きれいで丈夫な歯を保っていきたいです。」  
 「磨き方だけでなく、持ち方や力加減などにも気をつけて、いい歯を保ちたいです。」  
 「炭酸飲料に砂糖がいっぱい含まれていることを知って、飲む量を控えようと思います。」  
 「きれ

# 全校生徒のための高校説明会



生方にお出でいただき、それぞれの学校の特色について説明していただきました。

佐渡総合高校の校長先生は、農業や工業、福祉などの専門コースや、資格取得や就職の他に進学道も開かれていることなどについてお話してくださいました。

佐渡高校の教頭先生は、進学率や進学先、部活との両立に頑張っている生徒が多いことについて触れておられました。生徒は交換留学の話などにも興味をもっていたようです。

佐渡高校相川分校の教頭先生は、単位制の定時制高校という特色について語ってくださいました。その他にも、全国的に活躍しているバスケット部などについてお話してくださいました。

高校入試を控えている3年生はもちろん、1・2年生のうちこうした情報を得ることは、今後の学習や学校生活を見つめる上で大変貴重な経験になるものと思います。



恒例の**袴紙製作**を行いました。中学生はさすがに手慣れたもので、型紙に沿ってスムーズにカッターを走らせていました。小学校3～6年生もお手伝いをしてくれ、昼休みに真剣な眼差しで製作にいそしんでいました。400枚くらい用意し、18日（月）に東強清水～岩首地区に配付しました。今年度、児童・生徒数減少のために1日で回りきることができませんので、水津～野浦地区は冬休みに入ってから中学生が配付します。ご了承ください。



# 生徒会新役員を決めるための所信表明会

12月20日（水）に、**生徒会役員を決めるための所信表明会**が行われました。来年度、さらに優れた学校にするため、入学してくる新1年生をより良い環境で迎えるため、一人一人の生徒が一生懸命具体的なプランを考え、堂々と提案してくれました。

発表後も的を射た質疑応答が交わされ、現段階でのビジョンを語ってくれました。以下、各生徒の目指す目標や活動をまとめてみました。本当に頑張ってほしいです。

生徒氏名	目指すこと	具体的な取組など
Y・S さん	☆挨拶がしっかりできる学校づくり ☆小学校と連携できる学校づくり ☆給食を残さず食べる取組	○挨拶チェックシートと声かけ ○週1回の小学生と交流タイム ○給食の盛り切り、各自が食べきることを励行
K・T さん	☆自ら行動・手伝いができる学校づくり ☆小学生とのコミュニケーション強化 ☆早めに行動できる学校づくり	○ボランティアカードと表彰 ○小学生との学習タイム、レクタイム ○5分前行動週間の設定
U・A さん	☆地域に誇りをもてるイベント企画 ☆学力向上のための取組 ☆手洗い・うがいの励行	○ふれ合い体験と山菜採りイベント ○学習プリント作成とその後の学習会 ○登校後の手洗い・うがいの実施
Y・H さん	☆学力向上のための取組 ☆先を見越した行事（運動会、文化祭）の計画・準備	○毎週の学習プリント作成を継続 ○早めの計画確認と全生徒への提示、練習時間の確保
K・N さん	☆楽しめる運動会種目の企画・運営 ☆学力向上のための取組 ☆挨拶の良い学校づくり	○地域の人々も楽しめる種目の企画 ○学習プリント、基礎学力テスト全員合格 ○挨拶運動の改善



# Good luck アンジェリーク先生

昨年度から本校に勤務し、児童・生徒に楽しく英語を教えてくださいださっていた、**ゲレロ・アンジェリーク先生**がこのたび帰国されることになりました。アンジェリーク先生から次のメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

この度、私はアメリカに帰ることになります。帰ることは悲しいですが、皆さんの笑顔と元気な挨拶を決して忘れません。いつまでも前浜小・中学校を覚えているでしょう。一年間、本当にありがとうございました。

アメリカに戻られても、元気で頑張ってくださいることを心より願っています。

